

# みのかも

Minokamo Public Relations Magazine

## 蜂屋柿 HACHIYA GAKI その歴史と人々

堂上蜂屋柿は江戸時代、尾張藩献上品としてその地位を確立しました。美濃を代表する特産品である蜂屋柿を藩へ献上することにより、蜂屋村は諸役免除の特権を得、その生産に関しては「御柿庄屋」が置かれるなど万全の体制が整えられました。しかしながら諸役免除も藩の事情により必ずしも安泰というわけではなく、村はさまざまな手法、倫理でそれを保持しようとしています。

本展では、江戸時代以前の柿の歴史にも触れつつ、蜂屋柿にかかわる人々と地域の歴史をさまざまな側面から紹介します。

◇とき 2008.12/13(土) ~ 2009.2/1(日)  
午前9時~午後5時

◇ところ 文化の森

◇観覧料

かるちすとくらぶ会員	
および団体	100円
一般	200円
高校生以下	無料

■ミュージアムイベント②「堂上蜂屋柿茶会」

◇とき 1月17日(土) 午後2時~3時30分

◇ところ 文化の森

◇定員 50人

◇参加料 700円

◇申込み 1月6日(火)までに、直接またははがきで文化の森へ

※限定品「オリジナル蜂屋柿懐紙」をプレゼント

■ミュージアムフォーラム

◇とき 1月25日(日)  
午後2時~3時30分

◇ところ 文化の森

◇講師 松田 之利さん  
(岐阜市立女子短期大学学長)

◇定員 120人

◇参加料 無料

問 文化の森 28・1110

2008 12 / 15

No.878